


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01総務費

項 01総務管理費

目 01一般管理費

事務事業番号 01010107

事業名		総合行政システム改修事業		担当部署	福祉部 介護福祉課			
根拠法令								
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価 有効性 公平性 効率性	総合評価 A		
	予算・決算額(A)	3,630	726	-				
	(A)の内訳	国道支出金	1,815	363				
		地方債						
		その他						
		一般財源	1,815	363				
	人件費(B)	72	72	-				
	事業費計(A+B)	3,702	798	-				
事業の目的	令和7年4月から保険料における所得基準(80万円の基準)および令和7年8月から高額介護サービス費、補足給付における所得基準(80万円の基準)が改正され80.9万円となることに伴い、システム機能を整備する。							
事業の内容 SDGs17の目標 	<p>次に掲げる介護保険制度の見直し等に伴い、システム改修を実施しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 基準額変更のための設定変更作業および動作検証作業 基準額変更に伴い必要となる設定変更および動作検証 バッチ処理修正 基準額変更に伴う「調整交付金用 所得段階別第1号被保険者確認表」における判定ロジック修正 バッチ処理新規作成 高額介護サービス費、補足給付の基準額変更が令和7年8月から変更予定のため、帳票記載事項を任意のタイミングで変更するバッチ処理を新規作成 							
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度		
項目評価	高 → 低				評価の理由			
	4	3	2	1				
有効性	●						介護保険制度改正等に伴い必要な改修であることから、「4」としました。	
効率性	●						介護保険制度改正等に伴い必要な改修であることから、「4」としました。	
公平性	●				介護保険制度改正等に伴い必要な改修であることから、「4」としました。			
事業の課題 今後の方向性	介護保険制度改正等に伴い必要な改修事業です。今後においても、制度改正等に適切に対応していくため、総合行政システムの改修等を行います。					事業終了の 予定の有無 有 (令和6年度)		
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01総務費

項 04趣旨普及費

目 01趣旨普及費

事務事業番号 01040109

事業名		第9期版パンフレット配布事業		担当部署	福祉部 介護福祉課				
根拠法令									
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価		総合評価 A		
	予算・決算額(A)	3,485	3,007	-					
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他	3,485	3,007					
		一般財源							
	人件費(B)	144	144	-					
事業費計(A+B)	3,629	3,151	-						
事業の目的	第9期介護保険事業計画の策定にあわせ、改正後の介護保険サービスの内容等について広く周知を図るため、介護保険・高齢者サービスガイドを市内に全戸配布します。								
事業の内容 SDGs17の目標	<p>令和6年度以降の介護保険サービスの内容等について、わかりやすく掲載したパンフレットである「介護保険・高齢者サービスガイド」を市内に全戸配布しました。</p>								
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度			
	介護保険・高齢者サービスガイド全戸配布		部	0	0	89,924			
項目評価	高 → 低			評価の理由					
	4	3	2					1	
	有効性	●				介護保険サービスの内容等について市民周知を図るための効果的なツールとなっていることから、「4」としました。			
	効率性	●				配布業務の委託により、最小の経費により迅速かつ大きな効果が得られているため、「4」としました。			
公平性	●				全ての市民に対する周知を図るものであり、ホームページへの掲載のほか、令和6年度に全戸配布を予定していることから、「4」としました。				
事業の課題 今後の方向性	パンフレットの作成及び配布により、介護保険サービスの内容等について効果的に市民周知を図ることができます。今後においても、窓口業務や出前講座等で活用を図り、効果的な市民周知を行います。					事業終了の 予定の有無			
						有 (令和6年度)			
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 03地域支援事業費 項 03包括的支援事業・任意事業費 目 02包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費 事務事業番号 03030211

事業名		地域資源管理システム構築事業		担当部署	福祉部 介護福祉課	
根拠法令		介護保険法				
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価 	総合評価 A
	予算・決算額(A)	2,397	2,210	-		
	(A)の内訳					
	国道支出金	1,384	1,376			
	地方債					
	その他	461	425			
	一般財源	552	409			
	人件費(B)	2,881	2,881	-		
事業費計(A+B)	5,278	5,091	-			
事業の目的	本事業は地域資源の開発やネットワーク構築のため、地域資源管理システムを導入することで、生活支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図っていくことを目的としています。					
事業の内容 SDGs17の目標	 <p>システムの導入により以下の機能を活用することで、重層的支援体制整備事業の構築に向けた、情報の一元化や、多機関での情報共有が可能となり、業務の効率化が図られます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラウドシステムの構築による、「居場所」や「相談窓口」等の地域情報を蓄積した資源データベースから住所検索やカテゴリ、受け入れ条件、開催曜日などの条件を組み合わせでの検索 ・集計機能による、地域資源の分析 ・検索結果を一元化して表示・印刷、市民との情報共有 ・グループツールを利用することにより、庁外関係者との事務連絡の簡素化 <p>※公募型プロポーザルにより選定された事業者と契約し、システム構築後、令和6年11月から運用を開始します。</p>					
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度
項目評価	高 → 低		評価の理由			
	4	3	2	1		
有効性	●				システム導入により、個々に管理されていた様々な地域資源情報を一元化できたことから、「4」としました。	
効率性	●				クラウドシステムを使用することにより、迅速な情報閲覧、提供、共有が可能となったことから「4」としました。	
公平性		●			受託事業者の選定にあたっては、公募型プロポーザル方式で実施しており、公平性が担保されていることから、「3」としました。	
事業の課題 今後の方向性	複雑化・複合化する地域の課題解決のために、市民を地域資源につなげ、社会参加を促進する必要があります。今後も、庁内外問わず、地域資源の集約を行い、地域資源の評価や分析を効率的に進めることにより、より市民ニーズに即した地域づくりを展開していきます。					事業終了の 予定の有無 有 (令和6年度)
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04保健福祉事業費 項 01保健福祉事業費 目 02高齢者等生活支援サービス事業費 事務事業番号 04010213

事業名		高齢者等生活支援サービス事業		担当部署	福祉部 介護福祉課			
根拠法令		苫小牧市生活支援サービス事業補助金交付要綱、苫小牧市移動外出支援サービス事業補助金交付要綱						
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価		総合評価	
	予算・決算額(A)	4,615	3,446	4,710			A	
	(A)の内訳	国道支出金	4,615	3,446				4,710
		地方債						
		その他						
		一般財源						
	人件費(B)	1,440	1,440	1,440				
事業費計(A+B)	6,055	4,886	6,150					
事業の目的	介護予防・日常生活支援総合事業における住民主体の多様なサービス又は移送前後の生活支援等を実施する団体に対して支援を行い、地域包括ケアシステム構築の実現を図ります。							
事業の内容 SDGs17の目標	 <p>住民が主体となる多様なサービス又は移送前後の生活支援等を実施する団体に対し、事業に要する費用の一部を補助しました。 また、利用者が市民税非課税者である場合、利用者からの申請に基づき利用料の減免を行うとともに、減免した額の一部について補助しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 生活支援サービス（家事援助、除雪などの生活援助等） <ul style="list-style-type: none"> ・団体A 利用件数：569件 補助金額：1,433,786円 ・団体B 利用件数：413件 補助金額：1,770,239円 移動外出支援サービス（通院送迎前後の生活支援） <ul style="list-style-type: none"> ・団体C 利用件数：161件 補助金額：241,500円 							
実施結果 (活動指標)	指標名			単位	R4年度	R5年度	R6年度	
	生活支援サービス事業利用件数			件	493	549	982	
	移動外出支援サービス事業利用件数			件	-	38	161	
項目評価	高 → 低				評価の理由			
	4	3	2	1				
	有効性	●				住民主体の多様なサービス又は移送前後の生活支援の実施により、高齢者等の日常生活又は通院の支援につながっているため、「4」としました。		
	効率性	●				実施団体は営利目的の団体ではなく、多くのボランティアの協力を得られていることや、事業実施に要した経費に対し補助金を支出していることから、「4」としました。		
公平性		●			市内全域を対象として活動する団体がある一方、地域に根差した団体として、一部地域のみを対象とするものもことから、「3」としました。			
事業の課題 今後の方向性	高齢者の増加に伴い利用者数の増加が見込まれる中、地域包括ケアシステムの実現のためには、継続した事業実施が必要です。今後も、実施団体の支援を継続することで、サービスの充実を目指します。						事業終了の 予定の有無	
							無	
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

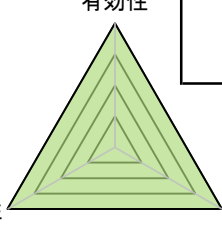
款 07基金積立金

項 01基金積立金

目 01介護給付費準備基金積立金

事務事業番号

07010114

事業名		介護給付費準備基金積立金			担当部署	福祉部 介護福祉課		
根拠法令		苫小牧市介護給付費準備基金条例						
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価		総合評価	
	予算・決算額(A)	96,971	96,881	2,596			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>	
	(A)の内訳	国道支出金						
		地方債						
		その他						
		一般財源	96,971	96,881				2,596
	人件費(B)	720	720	720				
事業費計(A+B)	97,691	97,601	3,316					
事業の目的		特別会計の剰余金及び運用利息を積立てし、次年度以降の介護給付に要する費用等の財源に充てることを目的としています。						
事業の内容 SDGs17の目標		 <p>令和5年度末基金残高 1,525,516,485円 令和6年度基金積立金 96,881,314円 令和6年度基金取崩し額 0円 令和6年度末基金残高 1,622,397,799円</p>						
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度	
		基金の年度末残高		千円	1,318,794	1,525,516	1,622,398	
項目評価		高 → 低		評価の理由				
		4	3	2	1			
有効性		●				次年度以降の介護給付に要する費用に対する財源として備えるものであるため、「4」としました。		
効率性		●				次年度以降の介護給付に要する費用に対する財源として備えるものであるため、「4」としました。		
公平性		●				次年度以降の介護給付に要する費用に対する財源として備えるものであるため、「4」としました。		
事業の課題 今後の方向性		発生した剰余金及び運用利息を確実に基金に積立て、次年度以降の介護給付に要する費用の財源とするものです。今後においても、介護保険料や介護給付費とのバランスを図りながら、基金の適正な管理を行います。					事業終了の 予定の有無	
							無	
特記事項								